

青森県 五所川原市広報

市政ニュース

第95号 一部2円

発行所 五所川原市役所

印刷所 青森民友新聞社

中山山脈の文化を探る ③

津軽考古学会

会長 秋元省三

坂上田村麿將軍は寺院ばかりでなく、たくさんの神社をも勧請したのである。津軽の各地にある有名な神社の縁起をみるとたいてい大同2年田村麿勧請とあるのはその辺の消息を物語るのではないでしょうか。この山脈中にはいたる所に先住民族の住居跡や、たて穴、遺物の出土地があり、考古学の宝庫と呼ばれており、馬神山の土地にある十三森などもその一例である最近、役の行者の遺物だと称するものが飯詰の山奥から掘り出されたというものがあるが、これは甚だいかわしいもので、これは役の行者のものというより、むしろ十三千坊の遺物と見た方が正しいように思われる。山脈の中腹から麓にかけての間に数箇所の寺屋敷と呼ばれている所があるが、それは十三千坊や高野千坊の跡と解釈したいものである高野の真言院跡や原子の淨願寺（今は秋田市下寺町にある）跡、長老長根の「テラコ」と呼ばれる所がそれである。法然上人は念仏宗をひろめるために多くの弟子を諸方に派遣したがその中の一人石垣金光坊を東北に派遣した。金光坊が津軽に入ったのは建保元年五月中旬だとされている。金光坊は津軽合浦の浜の寒村、阿弥陀川で如來の尊像を拾い、この尊像を背負い中山山脈の梵珠山に登つたところ、以前から梵珠山に住んでいた修験宗道場応身院の住持忍友坊とはげしい法論をした後山を下りて浪岡、藤崎等に伝導し、最後に浪岡の馬捨場の草庵で死んだといわれている。そしてこの阿弥陀像は今も弘前市新寺町の西光寺に安置されており、県文化財に指定されています。

市総合都市計画

基礎調査はじまる

大庭教授一行来五

将来の人間、住む環境としての都市というものをどのようなものとして造つてゆくべきか、将来さらに生産力の発展と技術革新のスピードが早くなるに従つて、五〇年かつておこなわれていたことが、十年あるいは五年でおこなわれるようになっていくが、そういう変化をふりかへてみて、これからさき、われわれは一体どのような都市をつつていったらよいのかということが非常に重要な問題になってきていますとも都市といものは、その軸とする道路とか、公共施設宅地における施設等の構成要素が随時あたらしく建てられ変化してゆくという形で発展してきておられます。

しかし現在ではワク組み自体がたえず体系的、構造的に改革をせまられる時点にきているといわれしかもその構造的なワク組みの再構成は相当なスピードでもつて要求されるであろうというのが今後の都市構造発展のみとおしであります。

このような現状でありますので当市でも将来の明るく住みよき五所川原市建設計画をたてるため

討し、急速に発展する現代社会の中で五所川原市がどのような都市づくりを進めてゆくべきかの方向づけをおこなうとするものです。

まず当市の現状あるいは問題点、将来の構想などについて話し合い市内全域を現地調査し、あわせて周辺農村との結びつきがどのようであるかをみるため、金木、中市浦、車力、木造の各町村をつぶさに調査して一応帰京したが、資料を細部にわたつて検討した上、意見調整を図りながら明年三月末頃までに一応の基本計画をまとめる予定になっております。

(写真：調査団一行)

市営住宅四戸建設に着手

市民生課では38年度建設計画の市営住宅第一種十二戸、第二種三十戸の建設に着手しました。請負者は第一種が柳引建設、第二種は雨森建設で十一月末にはそれぞれ完成する予定です。なお入居申込は九月上旬から受付する予定ですから入居希望者は申込みがねがいます。申込書は市役所市民生課にあります。



ライターの忘れもの

八月七日中央公民館でおこなわれた三和代議士金快祝賀会々場にライターを忘れた人がありますが、市役所秘書企画課で保管しております。おこころあたりの方はおいでください。

津軽の虫送り

労音友交祭で紹介

第三回東北労音友交祭は三日から五日まで十和田湖畔で東北六県から二〇〇名の会員が参加しておこなわれましたが、五所川原県ではこの友交祭に三〇〇年も前から津軽地方に伝わる「虫送り」を紹介しました。

市議会議員選挙

投票日は来月七日

任期満了にともなう市議会議員選挙は八月二十八日告示、九月七日投票日と市選挙管理委員会において決定しました。

市議会議員選挙に私たち市民にとつていちばんみじかなそして一番たいせつな選挙であります。有権者のみなさんの良識と自覚によつて義理や縁故に惑わされず明朗清潔な選挙をおこないましょう。

不在投票は

二十八日から

選挙投票日(九月七日)やむを得ない用務や事故のためどうしても投票のできない人は告示の日である八月十八日から九月六日までの間に直接選挙管理委員会事務局(市役所内)においてなつて不在投票をおこなつてください。

この場合官公庁、会社などに勤務している人は所属長の証明書を提出してください。またつぎの病院に入院している人はその病院で不在投票が出来ます。

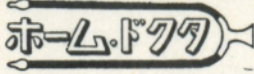
入場券は

とどきましたか

基本選挙人名簿に登録されている人の入場券は十三日各家庭に配

高血圧とお酒

市立西北中央病院
第二内科医員
安田 準三



人生とお酒、これはきつてもきりはなせない関係深いものです。お祝にもお酒、悲しみにもお酒であります。

私はこの世の中で酒の飲めないくらいかわいそうな人間はないと思います。ところで内科医

布しました。もし入場券のとどかない人は至急選挙管理委員会に照会し、名簿もれあつたときは八月二十二日から二十六日までの補充選挙人名簿登録申請期間中に申請してください。

市農業委員会

会長に木村三太郎氏

推せん委員も決定

市農業委員会は二百中央公民館で組織会をおこない、会長、各部会長等を決定しました。

会長 木村三太郎(稲実)
会長職務代理者 成田久雄(野里)
農地部会長 小坂源逸(戸沢) 農地部会長職務代理者 平山日出夫(元町) 農業振興部会長 小野秀雄(一野坪) 農業振興部会長職務代理者 新谷光男(前田野目)

また農協、共済組合、市議会の推せん委員はつぎのとおりです。
葛西敏男(五所川原農協)、中谷庄左門(五所川原開拓農協) 小栗山作太郎(川除第一農協)、和田善七(中川農協)、奈良長之助(中川第一農協)、佐藤直太郎(五市共済)、三浦金五郎(川除農協)、木村善吉(栄農協)、一

補充名簿申請は
22日から26日まで

市選挙管理委員会では市議選の補充選挙人名簿の調製期などについてつぎのとおり決定しました

①補充選挙人名簿調製現在期 八月八日 十一月一日の申請期間 八月二十二日から 二十六日まで

②調製期間 八月二十七日から 三十日まで

③縦覧期間、異議申出期間 八月三十一日から 九月十日まで

④異議申出決定

戸五五郎(栄農協)、成田千義(梅沢農協)、三上光男(七和農協)、長尾豊三郎(長橋農協)、工藤幸八(境山開拓農協)、太田利通(飯詰農協)、賀谷吉夫(飯詰第一農協)、成田水二郎(興隆開拓農協)、白川勝四郎(嘉瀬農協)、北川一郎(新瀬産改農協)、泉谷正志(北五拓殖農協)、藤森万四郎(北津野農協)、外崎森雄(三好農協)、寺田市太郎(松島農協)、渋谷正夫(松島第一農協)、高橋金四郎(水野尾農協) 太田源之助(松島共済)

△市議会推せん委員 柳原与四郎(飯詰)、白戸平次郎(七ツ館)、小田桐久石門(栄町)、小野秀雄(一野坪)、千葉幸助(下平井町)

として、高血圧の患者に質問されるのが酒であります。血圧の高い人がとくに酒のことを気にするのは最もな話です。さてそれではどういふものでしょうか。

ある有名な病院長のことばをかりると、酒は高血圧と関係あるにはちがいないが、しかし分量が非常に関係して、大量にこくにハンゴ酒をする人は確かに高血圧が多いとのことだ。

しかし中等量(一日、日本酒二合位)を夕食あるいは、そのあとで親むというくらいではま

期限九月三日◎確定期日九月四日

ジフテリヤ・百日セキ

接種日程

ジフテリヤ、百日セキの混合ワクチン予防接種の日程がきまりました。

旧五所川原、小曲地区(市立西北中央病院講堂)

一回目 八月二十七日、三回目 九月十三日、栄地区(栄支所) 二回目 八月二十八日、三回目 九月十四日、梅沢地区(梅沢支所) 二回目 八月二十九日、三回目 九月十五日、中川地区(中川支所) 二回目 八月三十日、三回目 九月十六日、三好地区(三好診療所) 二回目 九月二日、三回目 九月十八日、七和地区(羽野木沢小学校) 二回目 九月三日、三回目 九月二十日、長橋地区(長橋支所) 二回目 九月四日、三回目 九月二十三日、毘沙門地区(毘沙門小学校) 二回目 九月五日、三回目 九月二十五日、松島地区(松島支所) 二回目 九月六日、三回目 九月二十六日、飯詰地区(飯詰支所) 二回目 九月九日、三回目 九月二十七日、全地区都合により接種できなかつた人は市立西北中央病院講堂で二回目 九月十一日、三回目 九月三十日実施します。各地区とも時間は午後一時から三時までです。

★ 不動公園 清掃に奉仕

飯詰伝助町の人々

市内飯詰伝助町内会では十三日午前七時半から会員総出で不動公園の清掃奉仕おこないました。これは町をきれいにしようという運動の一つとして昨年の八月から町内の有志横山子トエさん(36)がおんどをとって始めたもの。会員たちは朝露を踏んで草取りや刈り払いに汗を流していた。

★ 十時ごろからは飯詰地区の生活改善グループ十数人も清掃に参加この善意を耳にした佐々木市長も駆けつけ労をねぎらった。

市内で初の 空中農薬撒布

三好地区水田で

ことしの春から準備を進めておりましたヘリコプターによる水稲の薬剤撒布を八月七日、八日の二日間三好地区二百六十三ヘクタールに実施しました。

これは三好農協(組合長開米佐太郎氏)が主体となつて市がこれに協力し、県の指導によつておこなわれたもので、将来ますます増えるのではないかと考えられます。七日午前五時三十分エンチンの音も高らかに地区農民の夢と期待をのせて飛びつたヘリコプター(東京成電鉄E5所属)は、朝露にぬれてひとしおあざやかな稲の緑りを、みるみるうちに濃霧のような有機水銀粉剤の中につんでいった。

この日午前十時三十分までの散布面積百五十七ヘクタールで、地味の人たちもその能力におどろいていました。

ヘリコプターの薬剤撒布量は水銀粉剤を一回に百四十キロ積み、僅か七く八分で五ヘクタール散布できるというもので、動力の一日二、三十キールに比べて約千



散布量二、五キロとなつています。一〇キール当りの経費は散布料二二〇円、空輸費(東京から青森県までの飛行料金)一三〇円、薬剤費二〇円、雑費一〇円で合計三八〇円となつておりますが、散布料、空輸費は散布面積によつて若干変動します。

夏まつりおわる 豪華だつた花火

会期中の 人出22万

夏の風物、ねぶたまつりを中心にして全市を舞台にくりひろげられた五所川原夏まつりは四日岩木川河畔に七万の見物人を集めておこなわれた花火大会をよたをあけました。

五日には恒例の五所川原おどりが婦人会、商工会議所、市役所から一〇〇〇名が参加、ゆかたにすげ笠姿の佐々木市長、原商工会議



所会頭を先頭に市内をパレード、北斗グランドで大躍進をおこなっていました。また六日は北斗グランドを会場に西北五小中学校の十六校、二二〇〇名参加の鼓笛隊、プラスバンド大演奏会など数々の行事があつて七日ねぶた合同運行で四日間の幕を閉じました。

なお商工会議所では期間中の入出を二十二万人といつています。

映写機貸出ます希 望者は公民館に

中央公民館ではつぎの要項によりレクター十六ミリ映写機およびU.S.I.S映写フィルムを貸出いたしてあります。

一、貸出する機材はレクター十六ミリ映写機、U.S.I.Sフィルム付属品一式。

二、貸出料は無料です。

三、貸出の受けることのできるのは公共団体、民間団体が団体鑑賞をおこなう場合を原則とし個人または営利上の目的及び政治活動は使用できません。

四、機材の貸出しを受けようとする場合は五所川原中央公民館長あてに貸出申込書を提出してください。

須藤五警署長 本部警備部長に

県警察本部は十日付で異動を発表したが五所川原警察署長須藤勝栄氏は県警本部警備部長兼外動課長に栄転されました。

また須藤氏の後任は県警本部防犯課長の風晴善一氏が発令されました。

